

1 学年「総合的な探究の時間」

「人文科学・社会科学」「自然科学」領域の専門家による講演会

6月19日（水）5・6限、1学年生徒は「総合的な探究の時間」の中で、学問分野に分かれ、大学関係者の講義を受けました。

人文科学・社会科学領域では、東京外国語大学の関係者から、① 言語学・文学、② 歴史学、③ 現代政治・社会のテーマごとに各教室に分かれ、講義を受けました。

言語学では、人間が操る言語を科学的に研究すること、文学では、作品は内側と外側の両方から見るという視点などについて学びました。歴史学では、歴史は文字だけでは表せず、見る視点・レンズを変えてみることで同じ対象でも全く別物に見えるようになるということ、現代政治・社会では、身近な都市景観から歴史を読み解けることなどについて学びました。

また、考古学のテーマでは、早稲田大学の関係者から話を聞き、生徒たちは、鉄道の話から古代エジプト、第二次世界大戦に関する話まで、人間が関与するモノは全てが考古学に含まれることなどについて学びました。

自然科学領域では、東京都立大学都市環境学部の高木慎介教授から、具体的な実験をもとにした探究手法を知り、自然科学の考え方を学ぶことができました。生徒たちは、どんな時でも疑問を持つことと、間違いを恐れず仮説を立てることが大切であると学びました。

工学・農学分野の説明は、本校教員が行いました。生徒たちは、「工学」と聞くとAIやプログラミング等のイメージが強いようですが、もっと幅広い学問であるということを知ることができたようです。また、アプリを作り、人の役に立つことと工学がつながっていることに驚いていました。

生徒たちには、興味・関心に基づいて調査・研究を深めていく中で、自分自身と向き合っ
て、「なりたい自分の姿」をイメージしながら、進路選択へとつなげていってほしいと思います。

